

令和5年第2回 高千穂町議会定例会

一般質問通告内容集約書

高千穂町議会事務局

【 7 名 15 件 】

質問日	順	質問者	件数	件名	頁
6月13日 (火) 10:00~ 6月14日 (水) 10:00~	1	工藤博志 議員	2件	1. 町有林管理と林家育成について 2. 地区公民館運営について	1
	2	板倉哲男 議員	2件	1. 高千穂中学校移転改築について 2. 高千穂鉄道跡地公園化について	2
	3	佐藤さつき 議員	2件	1. 公共施設の整備計画について 2. 高千穂高校魅力化について	8
	4	中島早苗 議員	2件	1. アピランスケア支援の必要性について 2. 带状疱疹ワクチンの一部助成について	10
	5	磯貝助夫 議員	2件	1. 廃校となった学校跡地の活用及び整備状況は 2. グローバル社会を生きる子供たちのために公営塾の設立を	11
	6	本願和茂 議員	1件	1. 第81回国体開催と連携した振興策について	13
	7	田中義了 議員	4件	1. 高千穂まちづくり公社の運営等について 2. 高千穂鉄道跡地公園化事業計画について 3. 小水力発電施設の工事等進捗状況について 4. 木のおもちゃ美術館の建設・運営について	15

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
1	工藤博志 議員	1. 町有林管理と林家育成について	<p>①町有林の伐期を迎えている立木については材価の高騰しているこの時期に販売し財産収入確保に努めてはどうか。</p> <p>②町有林の面積や所在地・評価額などを町民に公表する考えは。</p> <p>③町有林材を活用した高千穂中学校建設を検討しては。</p> <p>④本町の総土地面積 237 平方 km、内耕地面積 19 平方 km。その中で田は 10 平方 km、林野面積は 197 平方 km、21 平方 km が道路や住宅地となっている。 森林環境税が令和6年から国税として一人千円賦課徴収され、森林環境譲与税として都道府県・市町村に按分譲与されます。町土面積が 80%占める本町においてはこれを機会に森林環境整備に注力し、森林農家の育成を含め増収増益を目的とした政策を進めてはどうか伺う。</p>	町長
		2. 地区公民館運営について	<p>①地区公民館の運営は小さな集落ほど厳しい状況になってきている。公民館運営補助金は均等割り・世帯割り・人口割りなど公平・平等の配分ではありますが、小さな公民館は館費負担が多額になっている。小さな集落に手厚い支援をし、町民がどこに住んでいても等しい恩恵を受けられるよう辺地割り増しや過疎地割り増しなど検討してはと考えます。 町長に伺います。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
2	板倉哲男 議員	1. 高千穂中学校移転改築について	<p>令和5年度から、高千穂中学校移転改築検討委員会を立ち上げ、高千穂中学校の移転改築に向けた具体的な検討が始まりました。</p> <p>本町の未来を担う子どもたちが、不自由なく、生き生きと学び生活できる中学校を1日でも早くつくるべく、委員を中心に検討をしていただきたいと思います。</p> <p>高千穂中学校の移転改築について、3点、伺いたいと思います。</p> <p>(1) 学校施設と他の公共施設の複合化について</p> <p>高千穂中学校とあわせて、改築・改修を求める声が多く聞かれるものが、図書館、中央公民館、中央体育館、子育て支援センター、温水プールです。</p> <p>図書館、中央公民館については、築50年以上が経過しており、耐震についても十分といえない状態のことです。</p> <p>中央体育館についても、築50年以上が経過し劣化が進んでいるため、耐震補強の対象にもならず、類似施設もあるため解体を検討しているとのこと。</p> <p>子育て支援センターについては、建築年が不明ですが、老朽化は間違いなく進んでおり、耐震についても十分とはいえません。</p> <p>温水プールについては、30年近くが経過しており、屋内鉄骨の塗装、外壁修繕、防水工事が必要という現状です。</p> <p>しかし、これらすべての施設について、個々に改築・改修することは、本町の厳しい財政事情を考えると難しいのではないかと思います。</p> <p>そこで、高千穂中学校の移転改築とあわせて、図書館、中央公民館、中央体育館、子育て支援センター、温水プールについて、中学校との複合施設として整備してはどうかと思います。</p> <p>例えば図書館であれば、中学生だけが利用する中学校の図書室を整備するのではなく、中学生も一般の町民も利用できる複合化した図書館として整備してはどうでしょうか。</p> <p>2022年の文部科学省の調査によると、公立小中学校等の複合化事例は、全国で11,450校で、全体の約39%となっています。</p> <p>複合化のメリットとして、自治体全体の公共施設の整備費用の削減や、単独での整備よりも施設機能の高機能化を図れること、児童生徒と一般の施設利用者との交流を深められること、地域における文化・スポー</p> <p style="text-align: center;"><次頁へ続く></p>	町長 教育長

<前頁から続き>

ツ・子育てなどの拠点づくりができること、などがあげられます。

(2) 地域防災用備蓄倉庫

公立小中学校等の複合化事例で、最も多い事例が、学校内に地域防災用の備蓄倉庫を設けるといふものです。

2022年の文部科学省の調査によると、学校内に地域防災用の備蓄倉庫を設けているのは、全国の公立小学校で5202件、中学校で2233件です。

学校は災害時には避難場所になるケースも多くあります。その際、備蓄が同じ敷地内にあれば、非常に便利です。

本町における状況はというと、防災用備蓄の保管場所は、旧町立病院（現観光協会事務所）および各出張所です。

一方、本町でまず開設される避難所は、管理センター、旧岩戸中学校体育館、押方体育館、旧田原中学校校舎、上野出張所、旧向山北小学校校舎であり、上野出張所以外については、避難場所と備蓄場所が異なっています。

これでは、もし備蓄品を利用せざるを得ない事態となった場合、手間がかかります。

新しくつくる高千穂中学校については、避難場所として活用できるように整備することはもちろん、地域防災用の備蓄倉庫も設け、町中心部の防災拠点としての役割を果たせるようにしてはどうかと思います。

(3) PFI 事業について

厳しい財政状況を背景として、全国の自治体で、公共施設の整備・改修などについて、民間の資金やノウハウを活用するPFI事業が広がっています。

PFIのメリットとして、設計・建設・維持管理について一括で発注し、かつ、性能を満たしていれば細かな仕様は問わない性能発注方式を採用することで、安く質の良い公共サービスの提供を実現することができることです。

また、民間の資金を活用することにより、財政負担を平準化することができます。

今年度から、高千穂中学校の移転改築についての検討がはじまります。高千穂中学校の移転改築は、本町にとって、一大プロジェクトであり、財政的支出も大きいものです。

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

		<p>高千穂中学校の移転改築について、民間の資金やノウハウを活用する PFI 事業としてすすめてはどうかと思います。</p> <p>以上をふまえ、町長および教育長にお伺いします。</p> <p>●高千穂中学校移転改築を検討するうえで、図書館、中央公民館、中央体育館、子育て支援センター、温水プールなど、ニーズの高い公共施設について、学校施設との複合化を検討してはいかがでしょうか。</p> <p>次に、町長にお尋ねします。</p> <p>●高千穂中学校移転改築を検討するうえで、高千穂中学校を地域の防災拠点としての役割を担うことができるよう、学校内に地域防災用の備蓄倉庫を設けてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>●高千穂中学校移転改築について、民間の資金やノウハウを活用する、PFI 方式として検討をすすめてはいかがでしょうか。</p>	
	<p>2. 高千穂鉄道跡地公園化について</p>	<p>令和5年2月に町内6カ所で行われた高千穂鉄道跡地公園化基本計画内容報告会において説明された内容は、整備に6年、維持管理運営に30年、合計36年間において、54億円の支出と56億円の収入を見込むというものでした。</p> <p>事業規模がかつてないほどの大きさということもあり、報告会の参加者からは、多くのとまどいの声、疑問の声が上がっていました。</p> <p>そうした町民の声を受け、3月の議会では町民の理解が不十分であるとし、鉄道跡地公園化事業に関連する予算を削除した修正案を可決しました。</p> <p>今後、いかに町民の理解を得られるかが重要になってくると思います。</p> <p>町民から多くのとまどいの声、疑問の声が上がった要因として、行政主導で進められ町民の声が十分に反映されていないことと、あまりにも大きな事業を、一度にしようとしていること、があると思います。</p> <p>今後は、町民の声を十分に聴くことと、よりリスクを低くする取り組みが求められると思います。</p>	<p>町長</p>

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

(1)入橋料(入場料)の徴収

山口県岩国市にある錦帯橋の入橋者数は、コロナ前で毎年およそ60万人です。岩国市は条例で入橋料を定めており、現在、大人310円、小学生150円です。これによる年間の収入は、1億6000万円ほどとなっています。錦帯橋の維持管理については、職員の人件費を含めて、入橋料収入で賄っているとのこと。

一方で、高千穂鉄橋などの鉄道施設については、民間事業者に貸し付け、年間62万4000円の収入があるのみです。当該事業者が運行しているスーパーカートは年々人気を博し、令和4年度の乗客は7万2000人だったそうです。

乗客は料金を支払っていますが、この料金はスーパーカートを運行する費用のみに使われるもので、高千穂鉄橋をはじめとする施設の維持管理の費用はほとんど含まれておりません。高千穂鉄橋をはじめとする施設を維持管理する費用を、乗客が少しでも負担する仕組みを作るべきだと思います。

具体的には、岩国市のような条例を制定し、入橋料(入場料)を乗客から徴収すべきだと思います。

仮に入橋料(入場料)を500円と定めるとすると、乗客は、現行のスーパーカートの料金1800円+500円=2300円を支払います。もし昨年度に同様の取り組みをしていれば、 $72000 \times 500 = 3600$ 万円の収入が入ります。

これにより、5年に1度の点検など、維持管理費のかなりの部分については賄えると思います。

(2)国の重要文化財の指定

福岡県大川市と佐賀県佐賀市にまたがる筑後川昇開橋は、国の重要文化財の指定を受けている鉄橋で、財団法人筑後川昇開橋観光財団が維持管理をしています。

重要文化財の指定を受けているため、その維持管理の費用について、国から8割の補助が出ているそうです。

自治体が維持管理する場合については通常は5割補助だそうですが、そうした補助があれば、自治体の財政的な負担を軽減することができます。

高千穂鉄橋についても、国の重要文化財の指定を受けるべく、国へ働きかけてはどうかと思います。

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

(3) 高千穂鉄橋のビジネスモデル変更

町が策定した高千穂鉄道跡地公園化基本計画では、高千穂鉄橋の線路の下にある点検路を拡幅し、誰もが気楽に鉄橋を歩いて渡れるように整備する計画です。そのうえで大人1000円の利用料を徴収し、年間に10万8000人(1日平均295人)に来てもらい、およそ1億円の売り上げをつくることを想定しています。

そして、これだけの人数に対応するために、県道7号エリアに260台分ほどの駐車場を整備し、さらに県道7号から旧天岩戸駅へ通じる新たな道路整備をする計画となっているために、事業規模が大きくなっています。

事業規模が大きいということは、リスクも大きいということです。リスクを減らすには、できる限り新規の施設整備をしないことです。

新規の施設整備をできる限り抑えるため、県道7号エリアの駐車場や県道7号から旧天岩戸駅へ通じる新たな道路は整備せず、大平エリアをメインで考えてはどうかと思います。基本計画では、大平エリアには60台分程しか駐車場を整備しませんが、ビジネスモデルを変更すれば大平エリアのみで対応できると思います。

あくまで机上の計算ではありますが、例えば、利用料を大人5000円と5倍とすれば、利用者が1/5の21600人(1日平均59人)となっても、同じ売り上げをつくることができます。高い客単価を実現するには、点検路を拡幅し、誰もが気軽に歩いて渡れるよりも、現在の狭い点検路を、ガイドと共に歩く体験のほうがよいと思います。

参考になりえるのが、本州四国連絡高速道路株式会社が実施している「明石海峡大橋ブリッジワールド」や「瀬戸大橋スカイツリー」といったインフラツーリズムです。予約制かつ少人数制で、ガイドとともに橋の技術や歴史の説明を聞きながら、普段は立ち入ることができない管理用通路などを巡る内容で、料金は大人5000円となっています。

このようなビジネスモデルであれば、大平エリアだけでも対応が可能だと思います。

(4) 住民投票あるいは全世帯アンケートについて

鉄道公園の計画を、現在の計画のまま進めるにせよ、変更したうえで進めるにせよ、鉄道公園の計画を進めるには、町民の理解・賛成は必要不可欠だと思い

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

ます。

2月の報告会では、住民投票を求める声もありました。

あるいは、以前、公衆浴場の統廃合を検討していた際は、公民館に入っている全世帯に対し、アンケート調査をしました。

住民投票、あるいは全世帯を対象としたアンケート調査を実施し、鉄道跡地公園化についての町民の考えを確認する必要があると思います。

以上をふまえ、町長にお尋ねします。

●高千穂鉄道跡地の利用者に対し、町として入橋料(入場料)を徴収し、鉄道施設を維持管理する財源としてはいかがでしょうか。

●高千穂鉄橋について、国の重要文化財の指定を受け、国へ働きかけてはどうでしょうか。

●鉄道跡地公園化基本計画のビジネスモデルを、大平エリアのみでも実現可能なものに変更してはいかがでしょうか。

●鉄道跡地公園化基本計画について、住民投票、あるいは全世帯を対象としたアンケート調査を実施し、町民の考えを確認する必要があると思いますが、いかがでしょうか。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
3	佐藤さつき 議員	1. 公共施設の整備計画について	<p>高千穂町公共施設等総合管理計画の策定に伴い(令和4年改訂)、個別施設計画が出されましたが、計画されていながら、早期に進めるべきである施設整備が進んでいません。</p> <p>そのほとんどが、町民の生活環境に密接に関わる教育・福祉関連施設であるため町民が待ち望んでいます。過去の質問の答えを検討していただいている件も含め現状を伺います。</p> <p>1 高千穂中学校の移転・改築について現状は。</p> <p>2 築52年経過している田原小の環境整備は。</p> <p>3 前回の定例会で、廃校の再利用案として実際に取り組んでいる事例などを議会の行政調査として紹介したが、旧田原中、旧岩戸中などの町内の廃校の再利用計画は。</p> <p>4 老朽化している建物の中にある図書館や、歴史関連資料などが展示してあるコミュニティセンター、まないオフィスで計画されていたギャラリーなどの文化施設の在り方は。</p> <p>5 築年数不明なほど老朽化しており、乳児連れて利用するには段階があり利用しづらい子育て支援センターの移転計画は。</p> <p>6 社会福祉協議会が使用している老人福祉館の今後は。</p> <p>7 福祉の拠点である保健センターのユニバーサルデザイン化は。</p>	町長 教育長
		2. 高千穂高校魅力化について	<p>高千穂高校の支援に関して、魅力化プロジェクト計画のもと魅力化向上委員会を立ち上げ、地域と高校との連携、世界農業遺産を中心にさまざまな団体と政策間連携を行い、事業を行っているところですが、何よりも高校支援の一番の目的は、地域の子供たちに高千穂ならではの教育を高等教育で学んでほしいことです。</p> <p>現状、高校の情報発信は大変活発になりましたが、一方で高千穂町の義務教育の特色が高校の魅力化を含めた学習と繋がっているのかどうか、高校からの一方通行になってはいないかと考えます。</p>	町長 教育長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

例えば本年度より本町では、小中学校で英語・漢字検定受験に力を入れるようになりましたが、この特色を高校での教育にどのように生かすのか、保護者としても大変気になるところです。

教育と、教育の連携には町の教育委員会が必ず関わることが不可欠だと思います。

そこで、伺います。

1 世界農業遺産に関して、小中高連携した学習はどれくらい授業として小中学校の授業のカリキュラムに組み込まれているのでしょうか。

2 中学校、小学校の教職員や、保護者から高校の魅力化について意見を聞く機会はどれくらい行っているのでしょうか。

以上質問といたします。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
4	中島早苗 議員	1. アピアランスケア支援の必要性について	<p>アピアランスケアとは、がんやがん治療に伴う外見の変化による気持ちの辛さを和らげるケアです。</p> <p>爪や皮膚のケア、脱毛のカムフラージュなどの医学的・整容的なサポートとともに、その人らしくあるため心理的なサポートケアも含まれています。</p> <p>たとえば、抗がん剤の治療により髪が抜けたなどの外見の変化に対して、医療用ウィッグなどを使って精神面からのサポートを通じて療養生活の質の向上につなげる。</p> <p>また、厚生労働省ではがん医療の進歩により、治療を継続しながら社会活動を送るがん患者が増加しており、治療に伴う外見変化に対して医療現場におけるサポートの重要性が、認識されているといった現状を踏まえアピアランスケアの必要性を示しています。</p> <p>私は、30代の頃円形脱毛症になり髪の毛がごそと抜け落ちた事があります。本当にショックでした。昔から髪は女性にとって命と言われていました。</p> <p>抗がん剤の副作用で髪の毛が抜け落ちてしまうことは、自分が自分でなくなる程のショックではないかと思えます。</p> <p>アピアランスケアとは見た目を整えるだけでなく、ショックを受けた人にとって「その人がその人らしく生きるため」に必要なことなのです。</p> <p>そこで、町長にお伺いします。</p> <p>本町においても医療用ウィッグや補正具の購入費の助成ができませんでしょうか？</p>	町長
		2. 带状疱疹ワクチンの一部助成について	<p>コロナ禍による心身のストレスから免疫力が低下して带状疱疹を発症する人が増えています。</p> <p>日本では80歳までに3人に1人がかかると言われています。</p> <p>子どもの頃にかかった水疱瘡のウイルスが免疫力の低下した際などに発症。</p> <p>带状疱疹の水ぶくれを伴い赤い発疹や、強い痛みが3～4週間程続きます。</p> <p>周囲の人にうつす可能性は低いですが、これまで水疱瘡にかかったことのない小児(しょうに)に水疱瘡を発症させる危険があります。</p> <p>そこで、今、発症を予防するための、带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成を行う自治体が増えております。</p> <p>そこで本町においても带状疱疹ワクチンの任意の予防接種ができませんかお伺いします。</p>	町長

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
5	磯貝助夫 議員	1. 廃校となった学校跡地の活用及び整備状況は	<p>令和5年2月に、文教厚生常任委員会で、行政調査を実施した。</p> <p>その一つに、学校跡地を住宅として再利用している高知県大豊町を訪問し、事業内容と現地研修をすることができた。</p> <p>人口3,000人ほどの山間の町が行っているプロジェクトに、驚き、感銘するとともに、本町の廃校となった学校の現状はどうかと、考えさせられた。</p> <p>平成20年4月1日付で向山南小学校、向山中学校が閉校となり、その後3つの小学校、2つの中学校が閉校となった。</p> <p>中には体育館を避難所として利用したり、教室を倉庫として企業に貸し出ししたりしているところもあるが、ほとんどの校舎が未使用で放置されている状況にある。</p> <p>また、管理を地域の団体に委託しているが、人口減少、高齢化で管理も難しいとの声を聞く。</p> <p>今後も、少子化が進めば閉校する学校が出てくると思われることから、維持管理要領の見直しや、校舎・土地の有効活用ができないか、解体して安全確保に努めるべきではないかなど、先を見据えた計画が必要であると思う。</p> <p>以上のことから町長に問う。</p> <p>1 高千穂町公共施設等総合管理計画では、多くの学校施設が、今後の方針として「現状維持」となっているが維持できているのか。</p> <p>2 土地面積も莫大であるが、有効活用の考えはあるか。</p>	町長
		2. グローバル社会を生きる子供たちのために公営塾の設立を	<p>インターネット社会、デジタル社会、AI、DXなど、近年よく耳にするが、これからの時代を生きる子供たちが、活躍できる環境づくりと、人材の育成が必要。</p> <p>岡山県和気町に行政視察に行った時の担当者の言葉です。</p> <p>和気町では全国に先駆けて英語特区を導入し、幼児施設から小学校、中学校と英語教育に力を入れており、インターネットを使って、外国の学校と遠隔交流事業を行うことで社交性やコミュニケーション能力の向上を図っていました。</p> <p>学校の教育に加えて、公営塾を設立し、和気町出身の大学生や、外国人講師を呼んで英会話レッスンやオンライン交流などをやっているとのことでした。</p>	教育長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

また、高校の魅力化にも力を入れており、教育を地方創生の柱に「教育の町和気」を強く発信し、現在移住者も増えているとのこと。

以上を踏まえ 教育長に問う。

- 1 公営塾の設立をどう考えるか。

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
6	本願和茂 議員	1. 第81回国 体開催と連携 した振興策に ついて	<p>昭和54年(1979年)、本県で開催された「日本のふるさと宮崎国体」以来、48年ぶりに国体・国民スポーツ大会が4年後の2027年、令和9年に宮崎県で開催される計画となっております。</p> <p>大会スローガンは「紡ぐ感動 神話となれ」と掲げられ、本町では剣道競技が行われます。</p> <p>本町は名勝、高千穂峡を有する日本屈指の観光地であるとともに、天孫降臨の地、数々の神話が残る町であり、大会スローガンの言葉とは、切っても切り離せない関係性や縁があるものと考えます。</p> <p>また国体には、常に天皇皇后両陛下が開会式にご臨席されており、天孫降臨の地とされる本町は他の自治体と比べても、皇室との関りは特別なものがあると考えます。</p> <p>令和2年・3年については、コロナ禍で開催地に天皇皇后両陛下がご臨席にはなっていますが、それまでは、現在の上皇上皇后両陛下が御在位中、国体開催地には欠かさず、ご臨席になり開会式でお言葉を述べられ、地方事情をご視察されている経緯があります。</p> <p>直近では、令和3年に行われた第35回国民文化祭・みやざき2020及び第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会開会式に、オンラインで赤坂御所からご臨席いただいた記録が残っています。</p> <p>実際に、宮崎県へ天皇皇后両陛下がお越しになられた記録は、平成16年の第55回全国植樹祭と平成7年の第15回全国豊かな海づくり大会となっております。</p> <p>しかし平成7年は、宮崎市、日南市、串間市の県南に、平成16年は宮崎市、西都市、綾町の県央のみとなっており、式典会場から離れた県北へは一度も、お越しになられたことはございません。</p> <p>その理由は、空港からの交通アクセスが悪い、高速道路が整備されていないなどの状況が考えられますが、平成7年、平成16年からすると高速道路も飛躍的に延伸し、現在は当時とは比較にならないほどの状況です。</p> <p>2027年の国体開催時には、さらに交通網整備が進んでいると考えられるため、地方事情のご視察がなされる方向性が示されれば、天孫降臨の地 高千穂町は、いち早く準備を進める必要があると考えます。</p> <p>本町は、それだけの由緒ある町だと思いますが町長・教育長は、どの様に思われているのか伺います。</p>	町長 教育長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

また実現に向けて、どのようなスケジュールを立て、行動・アクションを起こす必要があるのか、近隣自治体、県や関係機関と、どのように連携するのか具体的に伺います。

- ・2010年(平成22年)、秋篠宮ご夫妻がご訪問になられた経緯と、その際の対応は。

- ・2011年(平成23年)、新嘗祭献穀献納式にて新米や栗を献納できた経緯は。

- ・宮崎県SAP会議連合が1962年以来、みかんの花を皇室に献上しているが高千穂町SAPの現状は。

- ・開会式で神楽を奉納する準備とアクション

- ・高千穂神社、天岩戸神社を参拝していただく必要性と関連付け

- ・高千穂牛のPRと提供方法

順	質問者	件名	質問の要旨	質問相手
7	田中義了 議員	1. 高千穂まちづくり公社の運営等について	<p>1 高千穂まちづくり公社の運営等について</p> <p>(1) 同公社の社長として、町長として令和4年度決算をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 同公社のふるさと納税・道の駅・鬼八の蔵の各部門別の損益状況を尋ねる。</p> <p>(3) ふるさと納税の運営の在り方を今年度どのように考えているのか。</p>	町長
		2. 高千穂鉄道跡地公園化事業計画について	<p>2 高千穂鉄道跡地公園化事業計画について</p> <p>(1) 町広報4・5月号の同計画の説明掲載の意図は何なのか。</p> <p>(2) 高千穂鉄橋の定期点検 3850万円となっているが、令和5年度予算額との相違と工事等の契約状況はどうなっているのか。</p>	町長
		3. 小水力発電施設の工事等進捗状況について	<p>3 小水力発電施設の工事等進捗状況について</p> <p>(1) 令和4年度までの関連事業費を含んでの総額はいかほどか。</p> <p>(2) 令和5年度の予算執行はどうなっているのか。</p> <p>(3) 土呂久の畑中地区の落石防止工事予算は同施設の関連事業なのか。</p> <p>(4) 去年の台風14号災害で用水路に土砂流入が多く、そのために用水路に蓋をする防災工事等が進められているが、同施設の利用する用水路の対策を尋ねる。</p>	町長
		4. 木のおもちゃ美術館の建設・運営について	<p>4 木のおもちゃ美術館の建設・運営について</p> <p>(1) 今年2月文教厚生常任委員会の視察先に徳島県の建設・運営する徳島木のおもちゃ美術館があり感動して、高千穂の湯跡をリフォーム又は建て直して同様</p>	町長

<次頁へ続く>

<前頁から続き>

な施設を運営したらと思うが、町長の考えを訊ねたい。